



この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2024年2月18日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

バレー界の革命児 東京グレートベアーズ 18日(日)=1、3面



スタンドに手を振る東京GBのチームマスコット「グレベアくん」

バレーボールVリーグ男子の東京グレートベアーズ（GB）は「奇跡の復活」を果たして2季目を迎えました。前身は、2021～22年シーズン限りで休部になったFC東京。チームを譲り受け、新チームを設立したのは美容健康雑貨を取り扱う「ネイチャーラボ」（東京都渋谷区）です。東京GBは挑戦を続けています。ユニホームの色は、珍しい鮮やかなピンク色で、選手のプロフィール写真は著名カメラマンが撮影。ホーム試

合の前は、ショーのような演出が繰り広げられ、会場を盛り上げます。バレー界ではファンサービスはあまり行われてきませんでした。かつてバレーは日本の「お家芸」と呼ばれたこともあって、なかなか殻を破れなかったのです。しかし、東京GBは違います。試合に負けても選手たちはファンに笑顔で応え、マイクで感謝の気持ちを伝えます。「バレー界の革命児」と呼ばれるチームに迫ります。

迫る



EUが新たな移民協定導入へ

18日(日)=総合面

欧州連合（EU）が中東やアフリカからの移民や難民の受け入れに関する新たな協定を導入しようとしています。2023年12月に主要なEU機関が最終案に大筋で合意し、今年6月までの発効を目

指しています。欧州は100万人以上が押し寄せた15年の難民危機以降、移民や難民にどう対応するかに苦勞しています。新たな協定でEUはこの問題にどう取り組むのでしょうか。



女性議員へのハラスメント どう変える

18日(日)

IIくらしナビ面

女性議員は議員という「強者」ではある一方で、極めて弱い立場に立たされ、ハラスメントを受けています。全体から見ると少ない女性議員数が影響している可能性もあります。女性議員・候補者の



サポート団体「Stand by」

「Stand by」代表で、女性議員からの相談も多く受けている浜田真里さんII写真IIは「政治は閉じられた世界で、つながりのない人、しがらみのない人、変えていける人が入ることが不可欠」と訴えます。

特集 ワイド

裏金事件 これで終わるはずない

20日(火)=夕刊2面



政治資金パーティ券を巡る裏金事件の捜査は区切りを迎えたかに見えます。しかし、「私の経験を踏まえると、これで終わるはずがない」と予測するのは、元東京地検特捜部副部長の若狭勝さん=写真=です。

「安倍派幹部の刑事責任の追及は難しいと当初から分かっていたはず。にもかかわらず、年末年始返上で総動員で捜査するということは、別のターゲットが視野に入っているのではないかと指摘しています。

竹橋の窓辺から

編集後記



本紙でおなじみの数の国際大会「アジア数独選手権」が1月28日、日本で初開催されました。これを記念し、毎日新聞社は2月28日にオンラインイベント「あなたの数独の世界」を開催します。世界選手権で優勝経験もあり、今大会の運営にも関わった森西亨太さん、「ニコリ」取締役・荒井奈緒さんが登壇し、解き方も解説しますので、QRからご参加ください。(小林知史)

